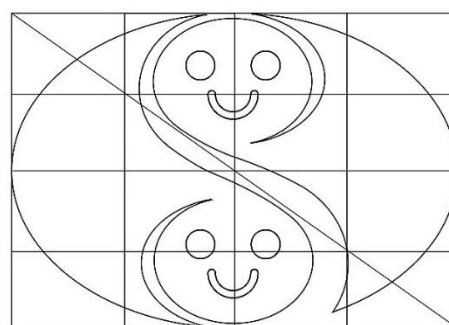
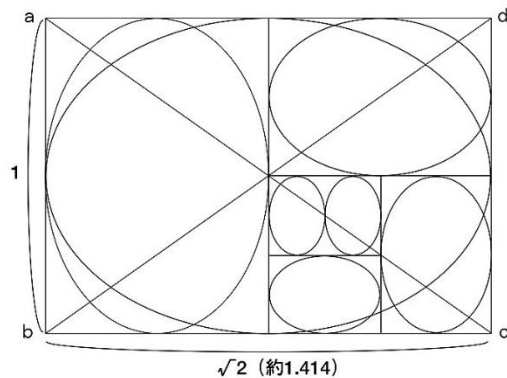




せとやこども園



○園章マークの構図に「白銀比(1:√2)」を使用しています。白銀比は日本発祥のため「大和比」とも呼ばれ、見た目の美しさだけでなくバランスも良いので安定感と安心感があります。

○日本の用紙規格であるA判やB判は白銀比なので、A4やB5等に拡大・縮小してもきちんとおさまる実によくできた構図です。

*学校法人 瀬戸谷学園「せとやこども園」の園章について〔デザイン・コンセプト〕

2020年(令和2年)4月1日、温暖で自然豊かな里山を貫く瀬戸川の清らかな流れの中で、瀬戸谷幼稚園、高根幼稚園は統合し、幼保連携型・認定こども園「せとやこども園」に生まれ変わりました。

デザインは、瀬戸谷地区が一丸となって「せとやこども園」を支え合い、地域の宝である子どもたちが元気に仲良く、伸びやかに成長する姿をシンボライズしています。

●中央のS字ラインは、せとやのイニシャルSと瀬戸川の上流から中流への清らかな流れをモチーフに、子どもたちの無限(∞)の可能性を表します。

●左右の組み合う流体形は、瀬戸谷幼稚園と高根幼稚園の統合を意味すると同時に、幼保連携型・認定こども園としての、保育部門(0~2歳児)と幼児教育部門(3~5歳児)を表しつつ、①「誰とでも仲良く遊べる子」、②「あきらめず行動できる子」、③「優しく思いやりのある子」、④「自分で考え工夫できる子」の4つの目標を目印とし、明るい笑顔に育つ子どもをイメージしています。

●カラーリングについては、透明感ある瀬戸川をホワイトにし、瀬戸谷地域の自然豊かで風光明媚な印象とお茶やイチゴ、ミカン、レタスなどの農作物をイメージするよう、左右の流体形をパステルグリーンとパステルピンクで表現。また、子どもたちの多彩な個性を尊重し伸ばす保育と指導の熱意を込めています。

(考案者:学校法人瀬戸谷学園・理事長 平井 登)